

アルミクリアランス見切 施工手順

※ビスは下地に届く長さで、現場調達ください。

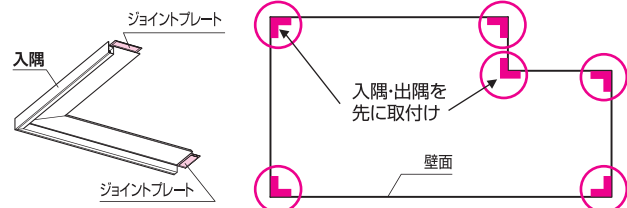
手順1: 取付け位置の確認

後付け施工の場合は、納まり図のように、**天井仕上げ位置**と同じレベルに入出隅役物・見切本体を取付けます。
先付け施工の場合は、天井仕上げ位置より41mm下側に墨出しし、開いたビスカバーの下端を合わせてください。

手順2: 出入隅の取付け

入隅・出隅を先に取付けてください。(右図の○赤丸印の箇所)

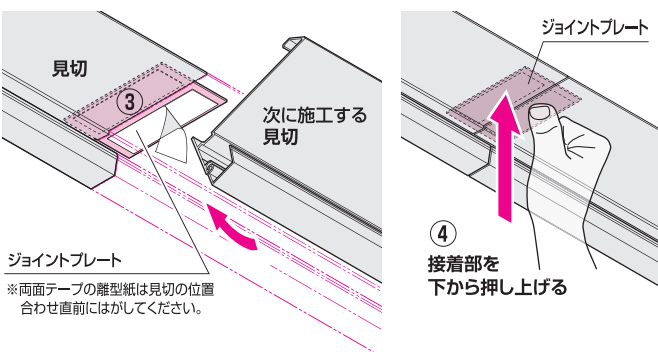
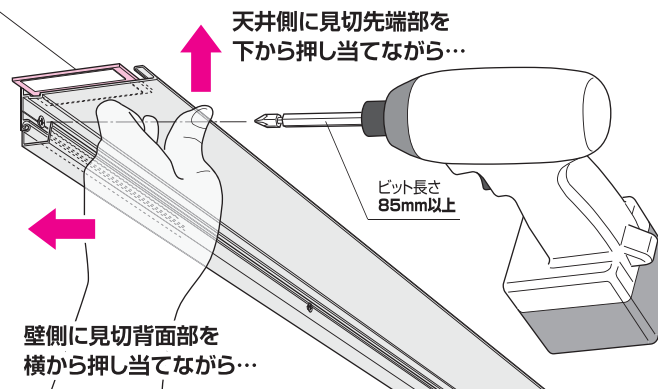
役物部材(別売)にはあらかじめ同梱のジョイント部材をセットしてください。



注意 ●本体を取付ける際は、ジョイント部は隙間を空けず突き付けて施工します。

手順3: 見切本体の取付け

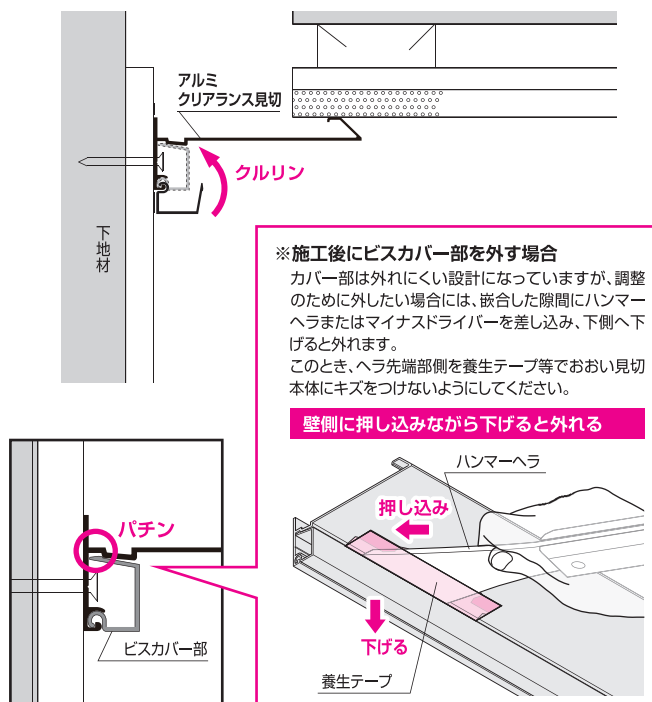
- ①半掛かりになっているビスカバー部を開いた状態で取付けます。
- ②下地のある位置を確認し、**ビス溝に沿って**ビス留めします。(455mmピッチ以下)
- ③見切本体の片側端部にジョイントプレート(片側)にて取付けます。
- ④次に施工する見切を位置合わせした上で、両面テープ部を押し上げジョイントプレートに圧着します。



注意 ●見切を切断する際は、見切本体とビスカバー部の長さをそろえるため、養生テープなどで動かないよう固定して、同時にカットするようにしてください。
●電動ドライバーは、ビット長さ**85mm以上**(110mm推奨)を使ってください。短いビットを使った場合、見付けが下がる恐れがあります。
●タッピングビスを使用する場合は、下地までの下穴をあけてください。

手順4: ビスカバー部のはめ込み・施工完了

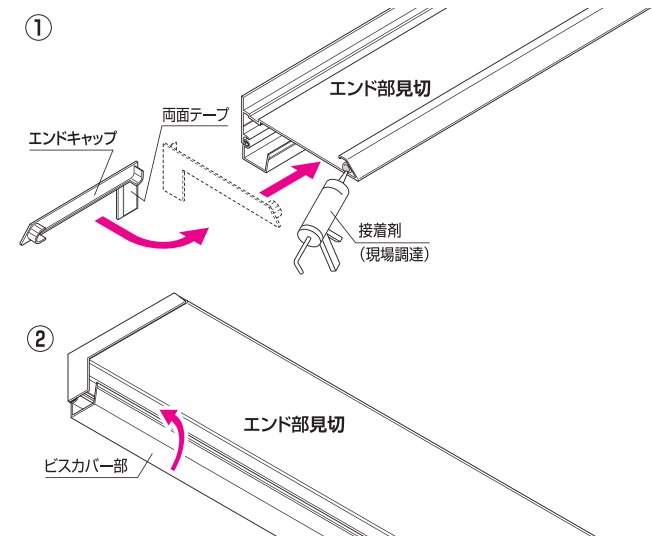
端から順にビスカバー部を回転させて、パチンと音がするまで確実にはめて施工完了します。



注意 ●下地の不陸による隙間(5mm以内)、ジョイント部にできた隙間は、コーキングを使用して隙間を埋めて仕上げてください。

突き付け部・エンド部がある場合のエンドキャップ施工

- ①先に見切本体に接着剤と両面テープでエンドキャップを取付け、固定します。
- ②手順3、手順4の方法で本体をビス打ち固定、ビスカバー部をはめ込み固定します。



下がり壁等の納まりでお困りの際は、下記の連絡先 までお問い合わせください。

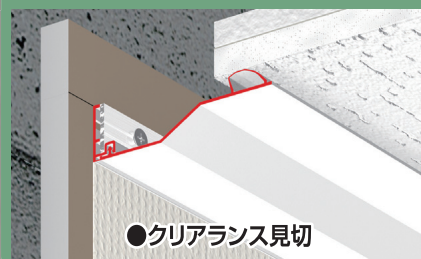


天井脱落対策に「クルリン・パチン」で簡単施工。

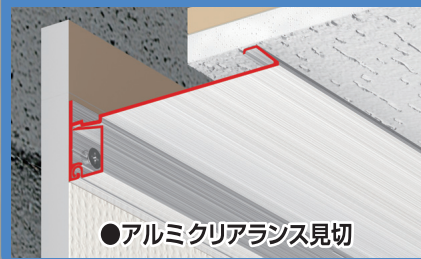
天井見切 クリアランス見切



樹脂製



アルミ製



耐震天井の壁との隙間を意匠的にカバーする後付け見切。
軽量でコストパフォーマンスに優れた樹脂製〈クリアランス見切〉と、天井付近が高温になる場所に適した不燃性のアルミ製〈アルミクリアランス見切〉をご用意しました。



本社 / 福井市三十八社町33の66 ☎ (0776) 38-8013 〒918-8585

北海道 盛岡 仙台 東関東 宇都宮 北関東 千葉 東京
西東京 神奈川 新潟 北陸 静岡 名古屋 京都 大阪
岡山 広島 高松 福岡 鹿児島 沖縄

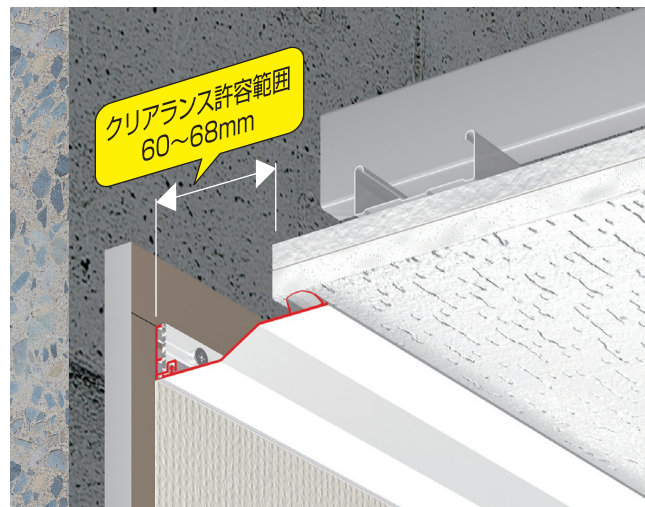
http://www.fukuvi.co.jp KC448 2016.2.1



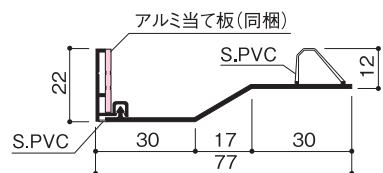
●掲載の仕様および外観は改良のため予告なく変更することがあります。●商品色は印刷により実際の色とは異なって見える場合があります。●価格に消費税は含まれていません。

天井見切 クリアランス見切

樹脂製

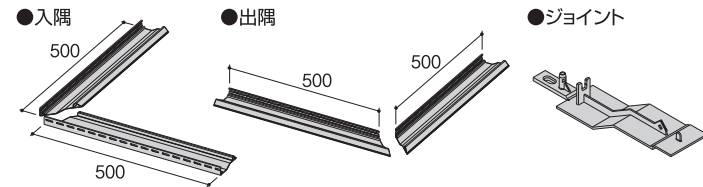


■製品図



●アルミ当て板
W19×L2,400×t1.7mm

別売部材

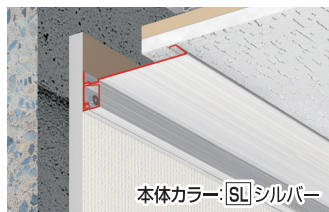
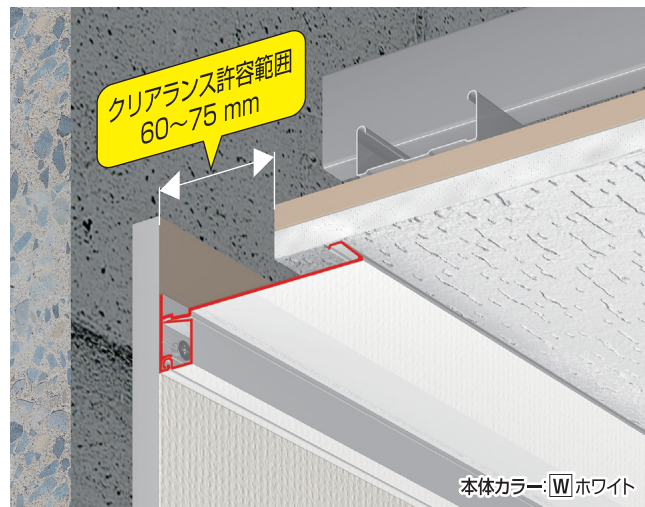


呼称	規格(mm)	カラー	コード	単品価格(セット)	梱包価格	梱包内容	バラ出荷対応
クリアランス見切	2,400	ホワイト	C7W3	¥2,800	¥56,000	20セット入 (1セット=見切1本、ジョイント1個、WGボードビス1本、アルミ当て板1本、取扱説明書)	○1セット単位
クリアランス見切 入隅	500×500	ホワイト	C7EW	¥3,000	¥6,000	2セット入(1セット=入隅1個、ジョイント2個、WGボードビス2本、アルミ当て板2本)	○1セット単位
クリアランス見切 出隅	500×500		C7DW			2セット入(1セット=出隅1個、ジョイント2個、WGボードビス2本、アルミ当て板2本)	
クリアランス見切 ジョイント	-		C7JW	¥200/個	¥4,000	20個入(WGボードビス20本)	○1個単位

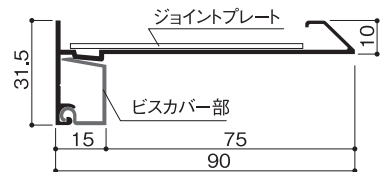
ご発注に関する注意事項 バラ出荷対応いたします。ただしバラ出荷手数料として¥2,000別途申し受けます。

天井見切 アルミクリアランス見切

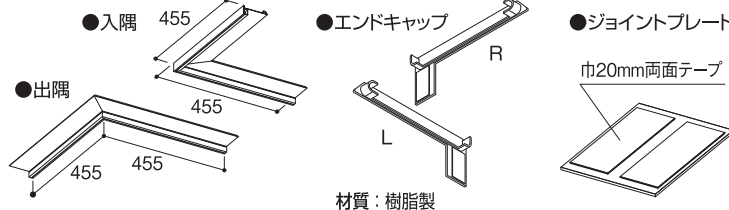
アルミ製



■製品図



別売部材



呼称	規格(mm)	コード	カラー	単品価格(セット)	梱包価格	梱包内容	バラ出荷対応
アルミ クリアランス見切	2,000	AC9□2	SL	¥4,000	¥48,000	12セット入、取扱説明書付き (1セット=見切1本、ジョイントプレート1枚)	○1セット単位
			W	¥5,300	¥63,600		
アルミ クリアランス見切 入隅	455×455	AC9E□	SL	¥6,000/セット	¥12,000	2セット入、取扱説明書付き (1セット=入隅1個、ジョイントプレート2枚)	○1セット単位
			W	¥6,900/セット	¥13,800		
アルミ クリアランス見切 出隅	455×455	AC9D□	SL	¥6,900/セット	¥13,800	2セット入、取扱説明書付き (1セット=出隅1個、ジョイントプレート2枚)	○1セット単位
			W	¥7,500/セット	¥15,000		
アルミ クリアランス見切 エンドキャップ	90×30×t1.2	AC9C□	SL	¥580/セット	¥5,800	10セット入 (1セット=エンドキャップ L、R 各1個)	○1セット単位
アルミ クリアランス見切ジョイントプレート	70×50×t2	ACJ□	SV	¥300/枚	¥4,500	15枚入	○1枚単位

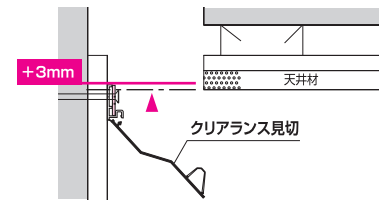
ご発注に関する注意事項 ※コードNo.中の□には、カラー記号をご指示ください。バラ出荷対応いたします。ただし運賃・梱包費として¥2,000別途申し受けます。また、価格は10%増となります。

クリアランス見切 施工手順

※見切本体固定用ビスは下地にしっかり届く長さで、太さφ4mm以下のものを、現場調達ください。

手順1: 取付け位置への墨出し

天井仕上げ位置より3mm上の位置に墨出ししてください。



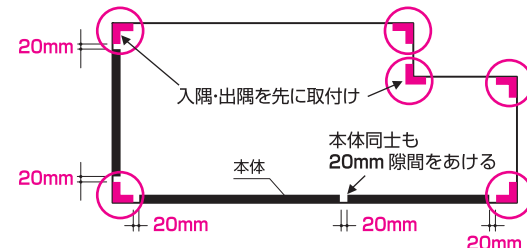
⚠注意 ●3mmより上の位置に本体を取付けますと、手順4で見切本体がはまりにくくなる、見切が下がるという不具合の原因になります。

手順2: 取付け手順

入隅・出隅を先に取付けてください。(下図の○赤丸印の箇所)



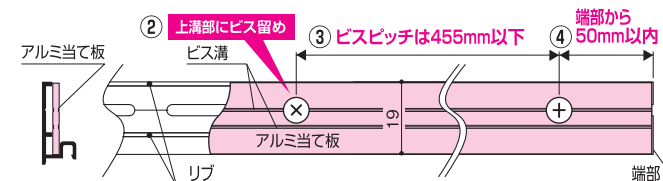
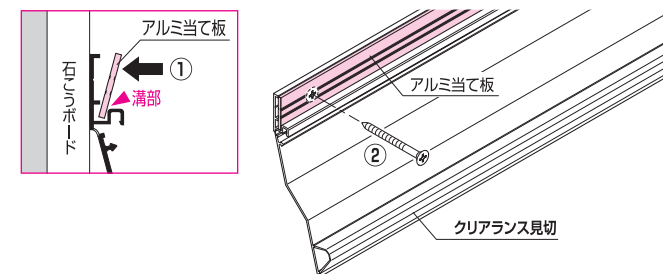
※突き合わせ部隙間は、コークボンドにて仕上げます。



⚠注意 ●本体を取付ける際は、ジョイント部に20mmの隙間をあけてください。
●後付けて、この隙間にジョイント(巾30mm)を取付けます。

手順3: 見切本体の取付け

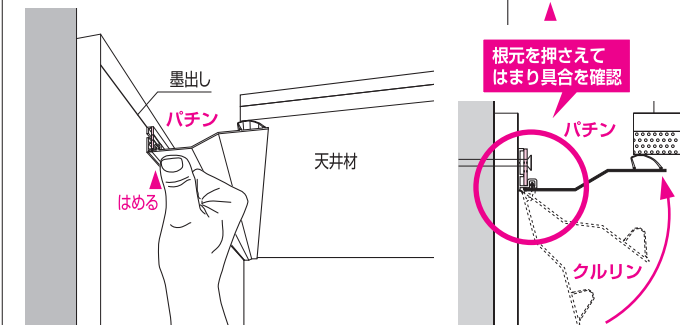
- ①同梱のアルミ当て板を使用して、クリアランス見切溝部(右下图参照)に差し込み、左右位置を整えてください。
- ②ビスはアルミ当て板の上溝部に打ってください。
- ③ビス留めのピッチは455mm以下となるようにしてください。
- ④製品端部からは50mm以内の位置にビス留めしてください。



⚠注意 ●必ず、同梱のアルミ当て板を使用してください。
●クリアランス見切本体を加工・切断する場合、アルミ当て板も本体と同サイズに切断してください。
●本体に長穴が開いていますが、ビスは下地のある位置に打ってください。
●コンクリート下地の場合はアルミ当て板から下地にかけて下穴をあけて、アンカープラグビス、または、アンカープラグレスビスでビス留めしてください。

手順4: 見切本体をはめる

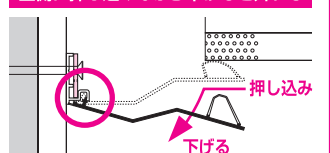
上方向にクルリンと回転させて、根元の矢型をパチンと音がするまでしっかりとはめてください。
※しっかりとハマり込んでいるか、根元を押し上げるように押さえつけて確認してください。



※本体を外したい場合

本品は外れにくい設計になっていますが、どうしても調整のために外したい場合には、見切を壁側に押し込みながら下げることで外すことが可能です。

壁側に押し込みながら下けると外れる

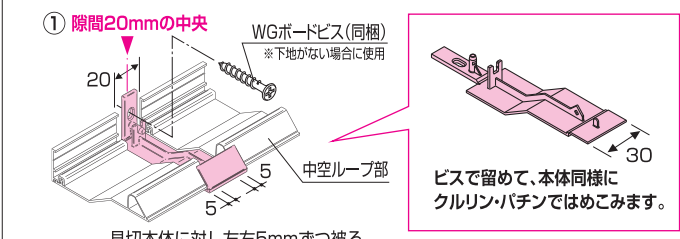


⚠注意

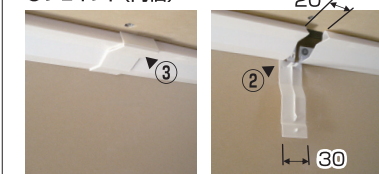
- 見切をはめた時点で、天井との隙間がある場合はビスが緩み過ぎています。
- いったん外して、ビスが緩んでいないか点検してください。

手順5: ジョイント取付け

- ①ジョイントは、隙間20mmの中央に下地に適したビスで留め付けます。
- ②まず、根元を折るように回転してはめ込みます。
- ③次に、先端を回転してはめ込んで完了です。



●ジョイント(同梱)



⚠注意 ●ジョイント施工位置に下地がない場合には、同梱のWGボードビスにて取付けてください。
●コンクリート下地の場合は下穴を開けて、アンカープラグビス、またはアンカープラグレスビスを使用してください。

手順6: 仕上げ

仕上げに、入隅・出隅部の隙間にコークボンドを充填して完了です。

